



12月 

発行責任者 校長 猪股 英介

【校長室より】

『挑戦するということ』

令和4年もあっという間に年末を迎えました。1年の世相を漢字ひと文字で表す今年の漢字は、「戦」でした。ロシアによるウクライナへの侵攻による戦い、円安・物価高・電力不足による生活の中で起こる身近な戦いなど暗いニュースが多かった中で、サッカーワールドカップでの日本の熱い戦いは、日本国民に多くの元気と勇気を与えてくれました。五高にとっての今年も、生徒一人一人が、学習、部活動、学校行事いすれにおいてもよく努力してくれました。2学期は多くの行事がありましたが、特に体育祭と五高祭は、生徒自ら企画・運営し、スローガン通りの素晴らしい行事となりました。行事を通して成長する生徒の姿に感心、感動しました。

2学期終業式では、「挑戦するということ」、「人間性を高めることを意識して努力してほしい」という2点について話をしました。以下は、その一部抜粋です。

私にとっては、「挑」の1年でした。この4月、人生で初めて五島高校の校長という仕事に挑んだ年でした。私たちの人生は「挑戦」の連続です。そしてその先にある結果は、うまくいくこともあれば、まあまあだったり、全く駄目なこともあります。

以前ある講演会に参加したとき、講師の方から、『「成功」の反対は何だと思えますか。』という質問をされました。私は、普通に「失敗」と考えたのですが、先生の答えは、「何もしないこと」でした。「何かうまいかかなかったとき、一般的には失敗したと捉えがちですが、それは、そのやり方ではうまくいかないとわかった成功体験です。うまくいかないことを失敗として恐れ、何もしないでいると成長は望めません。」ということでした。挑戦こそ、成功、成長への道だと大いに納得しました。

アメリカ・プロバスケットボール・リーグのスーパースターとして活躍し、バスケットの神様と言われたマイケル・ジョーダン選手は、「私は、9000本以上のシュートを外し、300試合に敗れ、勝敗を左右する決勝シュートを任されて26回も外した。私は人生の中で、何度も何度も失敗してきた。」と自分の失敗を明確に語っていますが、この言葉の最後は、「それが私の成功の理由だ。」という言葉で締めくくられています。

また、発明王と称され、生涯に1300もの発明と技術革新を行ったトーマス・エジソンにも次のような言葉があります。「私は失敗したことがない。ただ、1万通りのうまくいかなかった方法を見つけただけだ。」。彼は、失敗は改良点を見つけるチャンスと捉え、成功に近づくための大切なプロセスだと考えていたのです。

挑戦に失敗や挫折はつきものです。スポーツのみならず、芸術でも学問でも仕事でも同じです。一生懸命取り組んでいけば、困難や壁に誰でも直面します。その時に、もう駄目と逃げだすのか、それともすぐに立ち直り、その逆境を乗り越えるための行動を再開して前に進んでいくかが大きな分かれ道となります。成功の陰にはその何倍もの失敗があります。皆さんには、挑戦した結果、失敗や挫折をしたとしても、そこから抜け出し、その経験を糧に成長する回復力を持ち、夢や目標に向かって邁進してほしいと願っています。3年生は年が明けたら受験に「挑」みます。これまでの努力を信じ、堂々と入試という関門に挑んでください。1年生、2年生も、挑戦する精神力を持ち続け、決してくじけることなく、強い意思と努力で夢の実現に向けて突き進んでくれることを期待しています。

11月23日（水）五島地区PTA研修会

新上五島町の鯨賓館ミュージアムにて、五島地区PTA研修会が行われました。本校からは29名の保護者の方々や教職員が参加しました。長崎県立大学相談室の臨床心理士、伊藤勢津子氏を講師にお迎えし、『レジリエンス（折れない・打たれ強いところ）を育むために～今大人ができること～』という演題で親子ともに強くなるための講話をして頂きました。また、離島留学やICTを活用したPTA活動についての発表もあり、非常に充実した研修会となりました。

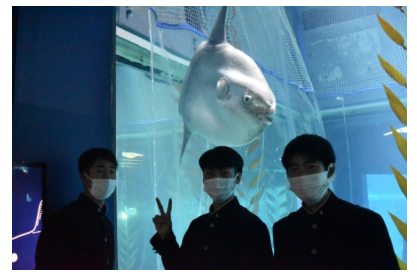


2年生修学旅行

12月11日（日）～14日（水）にかけて、3泊4日の日程で関西方面（京都・大阪）への修学旅行を実施しました。生徒たちは「京都市内班別自主研修」で日本の悠久の歴史を感じさせる街並みや建造物に触れることで、日本の伝統文化の素晴らしさを再認識することができ、大阪の「なんばグランド花月」観劇では、本場のお笑い文化を心ゆくまで堪能することができました。また「海遊館」訪問では、日頃見慣れている五島の海とは違った生態系と、持続可能な地球環境の実現に向けた人類の在り方に思いを馳せることができました。

今回の修学旅行では「本物に触れる」そして、「時空を超えて本物を支える“人”に目を向ける」ことを生徒には求めました。この修学旅行で触れた「本物」と「人」に刺激を受け、自分もこれから「本物を支える“人”になるのだ」という意識を持って欲しいと思います。それが、今後の進路実現に大きく後押ししてくれるはずです。

新型コロナウイルス感染症が席卷する昨今、保護者の皆様におかれましては旅行の実施にあたり、多大なるご理解を賜りました。厚く御礼申し上げます。



【衛生看護科】

施設実習

12月2日（金）～9日（金）の6日間、衛生看護科1年生は施設実習に行きました。バイタルサイン、食事、排泄、入浴、移送など学校で学習した援助を実際に利用者様に行いました。

校内の生徒同士での練習の時とは利用者様の状態が異なるため、戸惑いながらも安全安楽を考えながら援助を行う姿を頼もしく感じました。緊張もありながら、積極的に利用者様と関わり寄り添っていた態度も印象的です。

施設実習での学びを繋げられるよう2年生での病院実習に向けて頑張りたいと思います。コロナ禍の中、実習を引き受けて頂き、ご指導して下さいました施設の皆様に感謝申し上げます。



【スポーツコース】 ゴルフ実習

11月～1月にかけてスポーツコースの3年生は、五島カントリークラブ様のご厚意によりゴルフ実習を実施させていただいております。クラブの握り方やスイングの仕方などの基本をゼロから学び、現在打ちっぱなし練習場で猛特訓中です。今後は実際のコースに出てラウンド練習を行う予定です。ゴルフの難しさや楽しさを感じることで、生涯にわたる豊かなスポーツライフ実現のためのきっかけの1つにすることができればと思っています。



【柔道部】 令和4年度 九州高等学校新人柔道大会

私たち女子柔道部は、11月19日（土）、20日（日）に沖縄県で開催された九州大会に長崎県代表として団体戦と個人戦に3名が出場してきました。今回の大会では、今までとは大きく違い1試合1試合の重みを強く感じました。また「勝ち」に拘って試合を展開する事の大切さを学びました。レベルの高い試合を見て、体感して得た物は今後の柔道人生において、すごく価値のあるものだったと思います。今回の結果は満足できるものではありませんでした。だからこそ、この悔しさを「勝ち」に繋げられるように毎日の練習に励みたいと思います。応援していただき有り難うございました。

【剣道部】 上位大会進出 県新人戦男子団体第3位

11月19日（土）、20日（日）に長崎商業高校で行われた令和4年度長崎県高等学校新人体育大会剣道競技において本校剣道部が男子団体の部で第3位の成績を収め、来る令和5年2月4日（土）、5日（日）に宮崎県の日南総合公園多目的体育館で行われる令和4年度第37回九州高等学校選抜剣道大会に出場することになりました。

長崎県の代表として上位進出を目標に、精一杯頑張ってきたと思いますので、応援をよろしくお願いいたします。



第17回芸術科発表会

12月19日（月）、本校メモリアルホールにおいて、1年生の芸術科発表会を行いました。音楽選択者はクラスで合唱を披露しました。今回は新型コロナウイルスの影響で長らく本校では歌われていなかった「蒼き故郷」の合唱を各クラス発表し、素晴らしいステージを披露してくれました。自分の思い描いたメッセージを相手に伝える難しさ、嬉しさを忘れずに今後の様々な活動に活かしてもらいたいです。美術選択者は、五島の魅力を切り絵で表現した作品を1年生教室前に展示しました。作品制作あるいは鑑賞を通して、五島の魅力を改めて感じ、五島により愛着を持ってもらえればと思っています。

普段は交流のない音楽選択者と美術選択者ですが、今回の発表会で双方共に芸術的感性を磨き、今後の人生をより豊かなものにしてほしいと願っています。

